



でらボラNAGOYA通信

2016年 10月号

真宗大谷派名古屋教区内有志災害ボランティアネットワーク 発行

8月6日から3日間、野呂チームが宮城県の太平洋沿岸に位置する被災地、女川町を訪問した。今回は中学生2名、大学生、若手教員を含めた総勢8名での支援活動であった。若き彼らの目に、女川町がどう映ったのか。彼らの言葉をお伝えしたい。

寺院が地域の中心となり、皆が集う場所であれば、非常事態が起きた時も、地域で助け合い、少しでも救われるのではと思った。
(教員)



女川町竹浦にて、現地の方と一緒に。

**もし私の町に津波がきたら家族の皆と協力し、他の人の避難誘導に行くと
思う。ひとつでも多くの命を救えるよう、家に帰ってすぐに家族と話をし
た。そして、避難所や食料、水などを確認した。**
(中学1年生)

**大川小学校では、避難訓練を一度もしていなかった。
もし訓練をしていたら何人かの命は助かったかもし
れないと思うと、残念でならない。**
(中学1年生)



大川小学校前で読経する野呂氏。
参加者も自然に手を合わせる。

何度も来ているが、何度来ても、悲しい。
(名古屋教区第11組 安泉寺住職 野呂 美道)

私たちは、2011年3月11日に発生した東日本大震災を機に、被災地の復興と、人と人とのつながりの回復を願う有志によって結成されたネットワークです。

活動支援のカンパなど、引き続き本会の活動へのご支援、宜しくお願い申し上げます。

募金は「一如さん(毎月12日)」の募金箱、もしくは下記の口座までお振込みください。

【口座名義】真宗大谷派名古屋教区内有志災害ボランティアネットワーク

【ゆうちょ銀行振替口座 口座記号番号】00800-8-174946 【支店名】名古屋橋

9月の活動支援金は **32,589** 円です。たくさんのご協力をありがとうございました。

でらボラ会員が 自分の活動内容・支援への思いをリレーで語り継ぎます。
第4回目は、でらボラの熱き指令塔。岡崎教区第11組恵教寺の大河内真慈さんです。

続けること ～悲しみをいただきながら

一如さんにお参りのみなさま、
いつも「でらボラ NAGOYA」をご支援いただきまして
ありがとうございます。
「でらボラ NAGOYA」は東日本大震災をご縁に動き出した
僧侶やご門徒を中心としたボランティア団体です。
この世に人として生まれた以上、どうしてもできない出来事が起き、
苦しみ悲しみが沸き起こります。

「どうして…？」
変わり果てた亡きがらを見て、身が引き裂かれる人たち。
その苦悩に触れ、
私はこの世に生まれた意義は何だろう？と問いかけられました。
私たちは自分の思いや活動が正しいか正しくないのか、
いつまでも答えはでないのですが、
ボランティア活動を通してたくさんの人と出遇いながら、
今自分にできることを考え、
続けながら、
どんな人とでも笑い合えるような、
本当の喜びを探し続けたいと願っています。

みなさまも一緒に考えませんか？
気軽にでらボラの活動に参加してくださいね！

でらボラ NAGOYA 大河内真慈



でらボラメンバーで募金活動中。 左から2番目が大河内さん、4番目が北條さんです。

**10/19 (水) ~ 10/22 (土)、北條隊は福島県飯館村、二本松市、宮城県山元町で
現地で支援活動予定です。参加をご希望の方は derabora758@gmail.com まで！**